

もしも、それでもまちがつていたとすれば、それはあやまちである。全力をつくしてのあやまちは、やむをえない。しかし、あやまちを二度犯してはならない。一つの不正から次の不正を生んではならない。

わたしの心は決まった。
わたしは、静かな気持ちで
ピッチャーの方を見た。